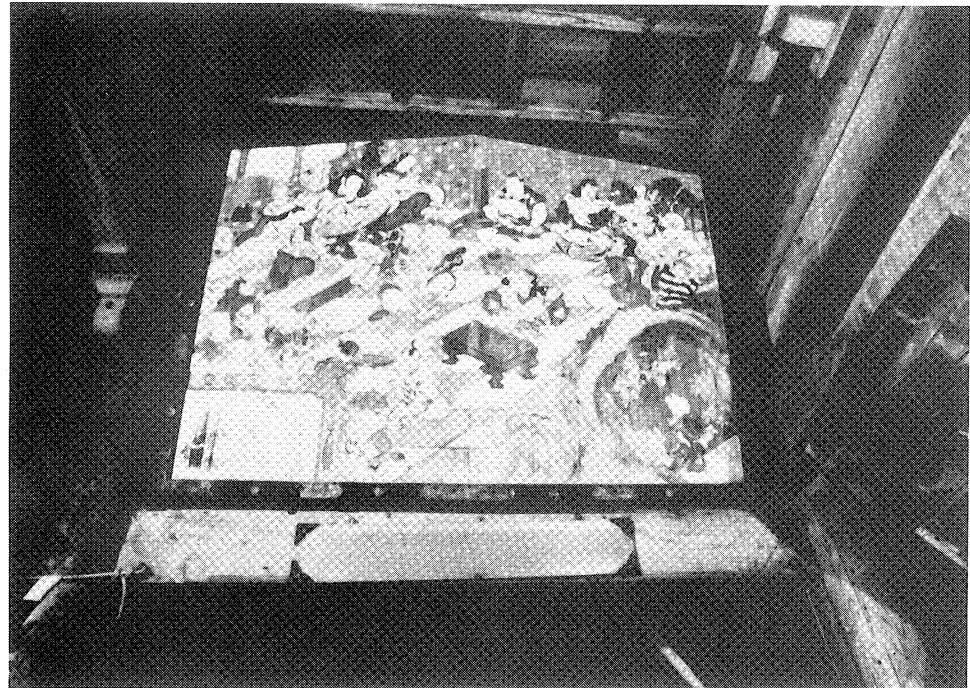


ふるさと探訪

県指定重要文化財

(絵画) 絵馬大江山図 一面

(鳥居清信筆)



所有者 田村神社

所在地 郡山市田村町山中字本郷135番地

田村神社絵馬で高く評価されるのは
鳥居派の大絵馬二面があることである。

清信の絵馬は家屋型の大絵馬で、黒

漆ぬりの額縁には銅製の飾金具があり

丸形の巴紋がある。源頼光が山伏姿に

扮して酒呑童子を退治する図で、右下

に洞窟の入口があるのは、洞内を開闢

図に広大に描いた珍らしい手法で清信

のアイディアであろう。洞内には四半

敷の大広間があり、左上図に童子は美

しい少年の姿で侍女を従え、右上に頼

光主従が、中央から下方にかけておど

けた表情の鬼共がいる。清信の画法は

俗に「瓢箪足みみず書き」といわれる

人物の描線の肥瘦味を極端に表現する

手法が遺憾なく發揮される大作で、左

下の衝立に「日本画工鳥居清信図」と

落款印章がある。本絵馬は「日本画工」と署名しているところから清信の自負

した作品であるといわれる。

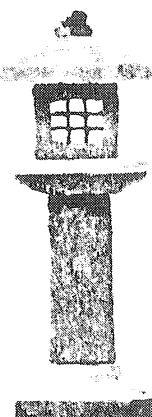
一口解説

絵馬の指定基準について

絵馬の場合は「絵画」または「歴史資料」として価値が高いものを重要文化財として指定し、民俗文化財として価値が高いものを有形民俗文化財として指定することにしている。

なお重要文化財は各時代の中で一般に製作が優秀なもの、歴史上、芸術史上意義が深く学術的価値の高いものを選んで指定する。

有形民俗文化財は、形様、製作技法、用法等において我が国民の基礎的生活文化の特色を示すもので典型的なものとして価値の高いものを指定するものである。



寸法 縦百六十五センチメートル
横二三五十五センチメートル